

人 輝く・安芸高田



あきたかた

議会だより

今回の題字は、^{いま おか れい あ}今岡遼亜くん(甲田中学校1年生)です。



新年度予算決まる
 3月定例会.....2~3
 予算審査.....4~6

開かれた議会をめざせ
 シリーズ議会改革.....22

一般質問
 15人が市政を問う...10~17

あんなこんな
 地域のかがやき.....24

バランスのとれた施策で

億9390万円

(対前年度 7億8010万円減)

万円 (対前年度 1億206万円増)

高齢者医療など12会計)

可
決

一日も早い復興を！



弔意を表す半旗

このたびの東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復興を心から祈念いたします。

私たち議員も、市議会として義援金（20万円）を送らせていただきました。

安芸高田市議会 議員一同

3月定例会

3月定例会を2月23日～3月18日までの会期で開催しました。

23年度一般会計・特別会計予算は、今回初めて導入の全議員による予算常任委員会へ付託した13議案。（予算審査は4～6ページに掲載）
 発議を含め、32議案すべてを可決しました。

各常任委員会へ付託した条例等の15議案は、すべて原案のとおり可決しました。（各常任委員会の審査は7～9ページに掲載）

22年度補正予算（一般会計、特別会計、水道事業会計の13議案）は、全て原案のとおり可決しました。

一般質問では、15人が市政を問いました。（10～17ページに掲載）

23
年度
予算

将来の財政を見据え 一般会計 223

特別会計など 106億8359
(国民健康保険、後期高)



議員発議

市議会委員会条例の一部改正

新たに 予算・決算 常任委員会 を設置

ねらい：厳しい財政状況下、より綿密に

■ 予算常任委員会 委員構成：19人（議長を除く議員）

委員長 赤川三郎 副委員長 水戸眞悟

■ 決算常任委員会 委員構成：18人（議長・監査委員を除く議員）

委員長 亀岡 等 副委員長 児玉史則

市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議員日当全額廃止 4月1日から実施

改正内容：委員会出席への日当支給を廃止し、議員の住居から会議等の開催場所までの往復距離に1kmあたり37円を乗じた額が支給されます。これにより年間約90万円の削減が見込まれます。

未来創造事業(新規)に向けて

予算常任委員会

2月23日の本会議において、議長を除く19名の委員で構成する予算常任委員会を設置し、23年度一般会計をはじめ11の特別会計と水道事業の13会計について審査の付託を受けました。

3月7日から15日の間で5日間委員会を開き、13会計予算を慎重に審査しました。

委員長 赤川三郎
副委員長 水戸眞悟
委員 議長を除く全議員

一般会計

■総務企画部

穴戸 今回の13人の早期退職は想定されたものか、今後の職員定数適正化の方向性は。

沖野総務課長 給食調理員から一般職への職種転換と新規採用者として定数を充足し、総体的な体制を整える。

秋田 高齢ドライバー運転免許返納支援事業の周知方法は。
杉安危機管理室長 自主返納者について、警察署との連携において周知啓発を推進する。

金行 JFAサッカーアカデミー調査研究事業の見通しは。
浜田市長 競争候補地が多いのでハードルは高いが夏までに

は調査し、日本サッカー協会に申請したい。

山根 新規の未来創造事業について、その事業推進委託料が計上されているが、業務内容は。

竹本政策企画課長 神楽と毛利元就のブランド化を図るためのPR経費で、神楽門前湯治村での年間150日の神楽上演等、事業拡大戦略のための委託料。

山本 デジ対応は全市的カバーができるのか。

広瀬情報化推進室長 市内の難視指定地域は67地域で整備決定は50地域、残り17地域の整備で難視地域は解消となる。

山根 光ネットワーク整備事業について、調査設計委託料

が計上されているが、使い方をどこまで追及するのか。

広瀬情報化推進室長 整備の基本目的は、全市域を基本として防災や行政情報などの告知機能をもつ情報送信事業を掲げる。あわせて若者定住や企業誘致など、地域活性化につながるインターネット

ト環境の充実を図る。

先川 まちづくり支援員の採用基準は。
益田まちづくり支援課長 パソコン技能が前提条件となる。市職員OBやボランティア、主婦等を想定している。今後、地域振興会と協議を重ねる。



未来創造事業 年間神楽上演

消防指令室の充実(2億8千万円)

携帯・IP電話の双方に対応

■消防本部

水戸 消防資機材整備事業により通信指令システムを更新するとしているが、その機能の有効性とメリットは。

杉田消防課長 基本的に従来の消防司令施設と差異はないが、IP電話や携帯電話双方とも対処できる総合型の119番通報位置情報通知装置を整備する。

入本 火災警報器取り付け期限の6月が来るが、その啓発計画は。

村岡予防課長 各支所等には啓発看板を、また、地域振興会等の会合で説明するとともに、広報紙や有線・無線放送で啓発に努める。

■市民部

和田・前重 ワンストップ総合窓口にし、フロアマネージャーの委託先は。また、研修計画は。

小田総合窓口課長 地域振興事業団を予定している。現在対応している臨時職員が事業団の委託社員として移行し、スムーズな事務事業を継続する。



更新される消防通信指令システム

入本 多文化共生推進の観点から、窓口業務へ外国語の堪能な職員配置が必要では。

浜田市長 今後段階的に臨機応変に対応する。

亀岡 本庁の窓口業務はワンストップ化で住民サービスや利便性が向上するが、各支所窓口のサービス向上は。

清水総務企画部長 支所においては、オールマイティな職員の配置によりサービス向上を図るとともに、将来的には民間活力の導入も視野に入れる。

青原 国有資産等所
在市町村交付金と

中山税務課長 国県有地、例えば県官舎や土師ダムに関するものが交付金算入さ

れている。

前川 不法投棄監視カメラの設置数は。
久保市民生活課長

新年度では3台を計画しているが、市内全域では28箇所必要で、優先順位を協議して進める。

■福祉保健部

先川 お太助タクシ
ーチケット交付事業
の想定対象者数は。

西村社会福祉課長 重度障がい者の方で、お太助ワゴンの利用困難な方への交通手段確保のため、新年度で400名分を計上している。対象者への個別の申請勧奨を行うとともに、広報紙に掲載する。

今村 高齢者福祉介護保険事業計画策定にあたっての方向性は。また、市民総へ

ルパー構想業務委託の骨子は。

岩崎高齢者福祉課長 今後計画策定の方
向性について県から示されるが、介護保険給付費の抑制が課題と考える。

浜田市長 市民総へルパー構想は、もやいの精神で市の福祉を支えようとするもので、中山間地域の立場を統計的に踏まえ、体系的にまとめる。

秋田 本市における
自殺予防対策は。
久保保健医療課長

本市においては自殺対策予防連絡協議会を設置しており、パンフレット作成配付や講演会開催で啓発に努めている。今後とも相談窓口の徹底など予防対策に努める。

四季の里農園 新たな展開

産業振興部

青原・山本 四季の里のハウス施設等利用計画は。

清水地域営農課長

四季の里のハウスはイチゴ用であり、JAと連携してブドウ・イチゴ栽培を継続し、新規就農者の研修施設として位置付ける。

秋田・今村・水戸・亀岡 有害鳥獣対策

について、抜本的な見直しが必要ではないか。

大野産業振興部長・清水地域営農課長

防護柵の設置補助や捕獲委託料等をあわせると、年間5千万円程度の金額を費やしている。防護柵の自己管理啓発や、休猟区・鳥獣保護区等の範囲の見直し協議、捕獲委託料の支出方法等、あらゆる

観点から模索する。国県の施策にも根本的の方策を要望している。

児玉 地域産業ブランド化推進事業とブランド化戦略展開事業については。

清水地域営農課長 地域産業ブランド化推進事業は、地域振興事業団が竹炭を中心とした「あきたかたのたから」の発

掘に事業展開したことを継続するもので、ブランド化戦略展開事業は、JAと連携し、はぶ草茶の販売促進と三矢ブランドを推進するもの。

和田 狩猟資格後継者育成補助金は。

近永農林水産課長 資格取得者一人あたり75、600円を交付するよう計上している。



今後の活用が期待される四季の里農園

建設部

水戸・山根 今年の除雪状況のうち、生活路線の一部に不便が生じた実態が見受けられたが、見直しの必要は。

西原建設課長 今後地元要望を十分協議し、見直しを検討する。

教育委員会

児玉 通学助成金について、今後統一する必要があると思うが。

森川教育総務課長

各学校により基準の違いがあることは認識している。学校規模適正化とあわせて平準化に取り組む。

先川・前重・児玉

国際交流事業について、今後交流先の選定は。

沖野生涯学習課長

シンガポールとニージーランド両国に中学生を各12人、ニージーランドに市民5人を計画している。新規交流先については、今後十分協議する。

石飛・塚本 新たな給食費の収納システムと滞納防止の具体策は。

森川教育総務課長

過去の給食費滞納等の対応については、学校ごとに給食運営委員会で自己完結した。新しい給食センターの運用にあたっては、口座引き落としの制度を基本とし、滞納対策を図っている。

総務企画常任委員会

2月9日、3件の所管事務調査を実施。また、3月定例会で付託された議案7件を、2月24日に委員会を開き、慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市地域振興推進員設置条例を廃止する条例

○安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○安芸高田市の施設の指定管理者の指定について

ほか4議案

- 委員長 秋田雅朝
- 副委員長 前重昌敬
- 委員 先川和幸
- 山本 優
- 赤川三郎
- 今村義照
- 藤井昌之

地域振興推進員設置条例廃止 新たに「まちづくり支援員」設置

概要

市内全域で32の自治組織が結成され、旧町単位の6つの連合組織の設置がなされたことにより、自主的な活動が展開される振興組織拡充が収束したため。

質疑

藤井 報酬等36万円の勤務実態、活動費について不明朗な点があったことの整理は。

清水総務企画部長

16年3月1日に条例制定され、19年12月までの3年あまり委嘱されており、結果的に全32市域において組織が設立された成果が表れたものと受け止めている。

討論 賛成

今村 地域振興に対する支援策が考えられていることを含めて設置条例廃止に賛成。

藤井 条例廃止が速きに期したことは否めなく、実態が不明朗な部分もあった。今後、地域振興組織充実に向けての取り組みに期待し賛成。

市特別職の職員で非常勤のもの報酬等条例一部改正 市給食センター所長を設置

概要

23年度から稼働する給食センターの所長の報酬を、月額19万円と定める。

質疑

前重 給食センター所長の報酬月額の決定根拠と、非常勤特別職としての設置の必要性は。

藤川副市長 給食センター統合による業務拡大のため、専属の所長が必要なこと

沖野総務課長 条例に規定されている公民館長、歴史民俗博物館長、適応指導教室所長とほぼ同等の職務と捉えての額の設定とした。

から、職員配置よりコスト削減が見込める非常勤特別職とした。



給食センター本格稼働

文教厚生常任委員会

3月定例会で付託された議案5件を、2月25日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり可決しました。

(主な審査)

○安芸高田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

○安芸高田市公民館条例の一部を改正する条例

○安芸高田市民水泳プール設置及び管理条例の一部を改正する条例

ほか2議案

- 委員長 青原敏治
- 副委員長 穴戸邦夫
- 委員 児玉史則
- 委員 水戸眞悟
- 委員 山根温子
- 委員 金行哲昭
- 委員 塚本 近

公民館条例一部改正

概要

利用実態に合わせて整理するもの。

質疑

金行 廃止後の用途は。

沖野生涯学習課長

八千代公民館は支所機能の一部として、高宮公民館は人権会館として活用。浅塚公民館は地元へ移譲する。

廃止される公民館



八千代公民館



高宮公民館



甲田浅塚公民館

4月から順次他に移管又は地元に移譲される

水泳プール設置及び管理条例一部改正

廃止される水泳プール



八千代国安プール



八千代下土師プール



甲田浅塚プール



甲田深瀬プール



高宮船佐プール



向原有保プール

利用者（児童）激減によりやむなく

概要

利用実態が少ないものを廃止する。一部は学校教育施設とする。

質疑

金行 夏場に市民が使用する場合は。

溝下文化スポーツ振興室長 学校管理となるプール開放は今までどおり社会体育として使用できる。

水戸 建設時の国庫補助制度等の関係は。溝下文化スポーツ振興室長 社会体育施設から学校教育施設への申請手続きを行う。

産業建設常任委員会

3月定例会で付託された議案3件、請願1件、要望1件について、3月1日に委員会を開き慎重に審査し、原案どおり採択しました。

(主な審査)

○安芸高田市し尿処理場に関する条例の一部を改正する条例

○安芸高田市八千代養魚池等釣堀設置及び管理条例の一部を改正する条例
○安芸高田市ふれあい農園設置及び管理条例の一部を改正する条例

委員長 入本和男
副委員長 和田一雄
委員 石飛慶久
大下正幸
前川正昭
亀岡等

安芸高田市八千代養魚池等釣堀設置及び管理条例の一部を改正する条例

概要

土師養魚組合を指定管理者とするための条例改正

質疑

和田 委託費などの協議は済んでいるか。

近永農林水産課長

委託料等について協議は済んでいる。

亀岡 無償譲渡する考えは。

近永農林水産課長

適化法に該当する36年まで適正に管理をし、指定管理者と今後の協議で提案。

大野産業振興部長 自立できる状況になれば無償譲渡を考える。

石飛 この施設は安定供給という課題があるが、施設を改修するのか。

近永農林水産課長 修繕が発生した場合一定の金額を支出する。

藤川副市長 基本的に行政が押し進める施設でない。県と協議しながら、期限が来るまで行政の責務で関わる。

請願

「住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願書」

請願者：広島県建設労働組合高田支部

趣旨：長年の経済の冷え込みにより、新築住宅着工件数の減少により市内の建築関連業者の仕事と雇用の確保が困難な中。住宅・店舗などのリフォーム助成制度を推進する事により、地元建築関連事業者の技術継承・育成を図り、安芸高田市の地域経済の活性化を目指す。



星ヶ城いこいの森

要望

「桂地内星ヶ城いこいの森治山事業について」

要望者：吉田町桂地区

趣旨：平成18年9月の大豪雨により山崩れ谷川の浸食また土砂の流失と大きな被害がありました。下流には家屋耕地があり、早急な治山対策を要望するものです。

【審査の経過】

請願、要望とも委員会で採択し、市に対して必要な措置をされるよう書面をもって伝えた。

市政を問う



和田 一雄
(日本共産党)

和田 指定管理者の施設で働く労働者の「ワーキングプア」の実態調査は。

市長 労働関係法令を遵守し有資格者への配慮も含め勤務年数や労働条件に応じた賃金体系に基づく運営を指導している。

和田 狩猟免許取得実施のみならず、銃や保管庫等の補助金と大変危険で重労働であるハンターの身分保障は。

市長 これから検討する。

和田 職員をハンターにして「ガバメントハンター」を組織

ワーキングプア

施設労働者の実態は

市長／実態を把握し対応

出したい。

する考えは。
市長 将来的課題を念頭に入れ考えたい。

和田 「ジビエ」事業の「協議・検討」その後の進捗状況は。
市長 猟友会や関係団体との協議を十分重ね、一定の方向を

ひとくちメモ

- ワーキングプア（働いても貧しいさま）
- ガバメントハンター（公務員狩猟者）
- ジビエ（野生鳥獣肉）



猟銃等講習会資料

一問一答

15人が

今村 主要施策につ

今村 行政評価システムにおける目標管理制度との関係は。
市長 主要な施策や事務事業に適切な事務の執行を目指してきている。



今村 義照
(あきの会)

行政評価

システム法制化は

市長／実施要綱整備を図る

いて評価する仕組みの公開は。
市長 主要な事務事業の目標や進捗状況は今後市民に報告していきたい。

今村 行政評価システムの法制化はどのようなふうに行うのか。
市長 実施要綱として整備化を図りたい。

今村 行政評価は政策形成への仕組みだと考えるが。
市長 総合的に検討できる仕組みづくりが必要と考える。

今村 人事評価と人材育成に向けて、人事課等の専門的な組織をつくれなにか。
市長 現行どおり総務課で所掌することがより効率的と考えている。



宍戸 邦夫
(無所属)

宍戸 給食調理員の行政職への受け入れ態勢と研修計画は。
市長 慣れない事務

職場での業務となることから、昨年6月にパソコン技術向上など「研修計画」を立て実施してきた。これからも服務や各種業務研修を行う。

宍戸 市が所有している産業用地(空地)を若者用住宅用地として販売は。また、市としての考えは。
市長 産業用地の空地利用対策として、若者定住用地整備の検討も視野に入れ、まず向原町にある市営の元「向ヶ丘住宅団地」を子育て婚活

支援のための若者定住の分譲団地をつくりたい。

若者定住対策

市有用地の活用は

市長／子育て婚活支援のための分譲団地を

支援のための若者定住の分譲団地をつくりたい。



元向ヶ丘住宅団地 (向原町)

子ども手当

市の費用負担は

市長／負担も考えている
が基本は国費



金行 哲昭 (政友会)

金行 子ども手当は必要と考えるが、支給対象者、費用負担はどう考えているか。

金行 予算編成にあたって市長が示した基本方針は。市長 まず市税の回復が見込めない状況があり、徹底的な経費の見直しを行い、限られた財源を最大限に活用し、「選択」と「重点化」を図り、市民生活の安定確保を最優先として幹線道路網や上下水道、学校耐震化、光ファイバーによる情報整備の推進を示した。



急がれる子ども手当

市長 現在国において審議中であるが、子ども手当は若者定住にとって大事な施策であり、我が市でも3歳未満で対象者790人、3歳以上が2790人であり、費用負担も考えている。負担を少なくし、国費でやってもらいたい。

人口増による 税収対策を

市長／若者定住環境整備が必要

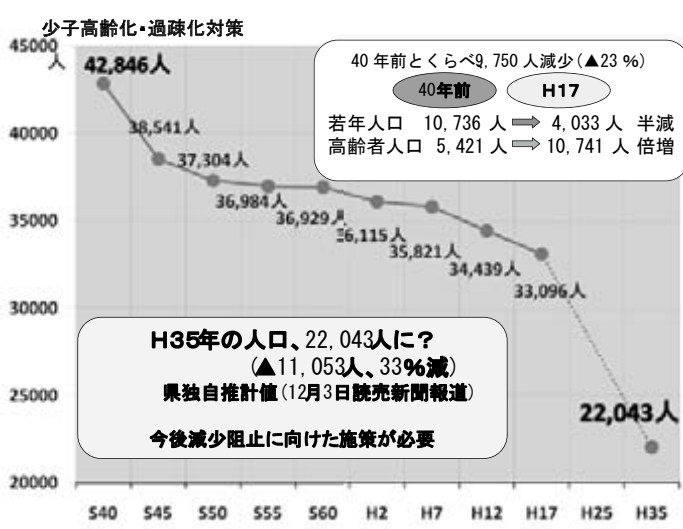


秋田 雅朝 (政友会)

秋田 持続可能な自治体経営確立には、財源確保、特に自主財下比率向上が重要と思う。その最たる市税増収対策が課題と考える時、定住人口、とりわけ生産年齢人口増対策の施策

市長 展開を図る必要があると思うが。市長 定住人口増対策では様々な定住環境整備が必要であり、生産年齢人口増には女性の社会進出、外国人の雇用確保などの対策が必要と考える。

秋田 人口増加対策に数値目標を掲げた取り組みをされてはどうか。市長 人口増対策を考えると、将来的には必要と思われるので、今後の課題として。



安芸高田市人口動態予想

少子化対策

幼稚園、保育園の一元化に向けての方向性は

市長／公と民の適切な役割分担が図れる保育サービスを



前重 昌敬 (絆)

前重 幼保一元化の方向性は。市長 民営化の考え方も取り入れ、公と民の適切な保育サービスを目指す。

前重 幼稚園の教育年限の見直し、土曜日、祭日における保育実施の今後の対応は。教育長 認定子ども園の導入により解決したい。

前重 公立保育園における延長保育、祭日の保育実施の対応は。市長 運営方法等を含め検討したい。



民営化も検討される保育園

前重 吉田サッカー公園の集客施設整備は。市長 県内産間伐材を利用した12人掛けスタンド21基、合計252人分を設置する。また、直径1m程度のプランター10基も整備する計画である。

「教育振興基本計画」策定への市民参画は

教育長／今後の方向性

みつや協育



山根 温子 (無所属)

山根 22年度から26年度までの5年間の方向性を定める「安芸高田市教育振興基本計画」の策定における委員の公募や市民への意向調査、パブリックコメントなどの実施は。

教育長 公募による委員の募集はしていない。教育委員会が主体的に計画を立て、専門の学識経験者を含めた委員会においてご意見をいただき策定した。

山根 策定されたこの基本計画には情報を積極的に収集、提供し、柔軟で実効性

のある教育委員会の機能強化を図るとある。パブリックコメントや審議委員の公募に数値目標を掲げながら、この計画自体に市民参画を求められなかったのはなぜか。

教育長 今後大事な事についてはそういう方向でいく。



策定された教育振興基本計画

高田インターチェンジの活用は 市長／観光拠点として重要

地域整備



亀岡 等
(市民クラブ)

亀岡 市内全域が均衡のとれた発展を目指すとした地域整備は今後どう進めるのか。
市長 住民の意見を十分聞き、今後の整備に反映していきたい。



北の玄関口 高田インターチェンジ

亀岡 高田インターを活用した本市の振興策は。
市長 本市の北の玄関口として、観光情報、交流拠点として重要である。いろいろな条件を踏まえながら検討課題とさせてもらいたい。

亀岡 支所別懇談会は参加者が年々減少している。改善が必要ではないか。
市長 市民への周知、参加要請の手法、重要施策のテーマの設定など、十分検討していきたい。

ふるさと応援の会

設立時期は

市長／8月頃設立予定



前川 正昭
(絆)

前川 会員の目標人数と計画の実行時期は。
市長 会員は1000人を目標としており、23年8月ごろ設立総会を開催する予定としている。

前川 この会が成功すれば大きな力になると思うが、他市町の成功例があるか。
市長 美土里町において同様の会を作っている。特産品案内や観光案内、企業誘

致の協力先などで成功していると聞いている。

前川 ハブ草の栽培について、今後どの

ように増産・販売を指導する考えか。
市長 約30年前から向原町全町で栽培され、昨年ペットボトル化に成功した。今後今までもおり手づくりで栽培いただき、ペットボトル用については機械化を図る。25年度までには12ヘクタールの栽培を目指す。

安芸高田市 ふるさと応援の会

この街の魅力を広め、この街をもっともっと元気にしたい。

安芸高田市では、この街の魅力を広め、この街をもっともっと元気にしたいと願い、安芸高田市を知り・体験し・広めていくための会員組織「ふるさと応援の会」を結成することになりました。安芸高田市出身の方やゆかりのある方はもちろん、市内外を問わずなたでも参加していただけます。「ふるさと応援の会」では、安芸高田市の主要産業である農業・農産品を中心に、温泉や神楽、歴史やスポーツ文化などの幅広い情報をお届けするほか、会員さま限定の体験イベントや、市観光施設のご優待などの特典もご用意しています。安芸高田市をもっと元気にしたい！もっと知りたい！もっと応援したい！という皆さんの入会を心よりお待ちしております。

会員1000人目標

山本 特異な事業の中で、地元業者の扱

山本 情報格差がある中で、基盤整備の目的、内容について。
市長 教育、広報、防災、特に医療の充実に活用したい。



山本 優
(絆)

光ファイバー

情報基盤の整備を！

市長／将来的に不可欠の事業



早急な情報基盤整備を

いは。
市長 可能な限り地元業者に協力いただきたい。

山本 国敷設の光ファイバー網の利用については。
市長 課題もあるが、可能な限り努力する。

山本 学校統合、耐震改修の中で、エコ

対策は。
市長 大事な課題なので積極的に検討する。

山本 財政が厳しい中、教育支援方法でもっとアイデア活用しては。
市長 経費のかからない創意工夫した子育てで支援対策を考えたい。

青原 合併以来支所の人員が減っている。施政方針の中に地域格差のないバランスのとれた施策を実現するとあるが、支所の機能を人員等も含めこれからどうするのか。
市長 現在各支所の利活用計画を進めている。特に八千代支所は耐震基準が満たされておらず、フォルテの活用を念頭に移設を検討している。他の支所も、他



青原 敏治
(あぎの会)

支所機能

住民サービスの向上

市長／活用計画の作成

の公共団体の入居を視野に、利活用計画を作成する。

青原 支所を運営するにあたり、支所長



八千代支所機能移設予定のフォルテ

決裁でいろんな事業ができれば住民サービスに繋がると思うが、その点はどう考えるか。
市長 支所長の決裁権限は、工事費で100万円未満を委任している。緊急度に応じた予算執行するように調整することとしていたので理解いただきたい。

補助支援拡充が必要

一般住宅耐震化

市長／啓発の徹底を図る



児玉 史則 (絆)

児玉 人口が減少すれば、同額の債務で推移しても一人当りの債務は年々増加することになる。次世代に負担を負わせることにならないか。
市長 現在繰上げ償還を進めている。借

金返済の中には、合併特例債でいえば7割が交付税で算入される。返済方法が各種あることを市民に説明していく。
児玉 将来53億7千万円の歳入減が想定されている。具体的歳出項目の絞り込みが必要では。
市長 トータルのな考えで対応を示しているが、具体的な項目

目では理解いただけないところがある。わかりやすい資料づくりを心がける。
児玉 耐震化の一般住宅への支援拡充が必要では。
市長 21年度から補助事業を施行しているが2件しか申請がない。今後啓発の方法を工夫し、周知を図っていく。



耐震化された吉田中学校（一般住宅も耐震化を）

豪雪対策

迅速な除雪と生活インフラの確保を 市長／市民生活の安全安心を図る



水戸 眞悟 (絆)

地域について伺う。
市長 豪雪により、一部地域には通勤・通学・物流に影響があったので、除雪エリア、優先順位等再検討するとともに、

水戸 本年の寒波による豪雪は交通通信網や生活インフラに支障をきたしたが、総合的な対策について伺う。
市長 関係諸機関と連携を密にするとともに、情報の共有と職員対応を迅速にし、地域防災計画の初期の目的に応えたい。

水戸 市道の除雪路線の一部で生活路線が確保されなかった

安全な在宅生活も支援する。
水戸 給食調理場の有効的利活用について伺う。
市長 給食センターが本格的運用となるので、旧給食調理場については地域住民と協議のうえ、有効的な活用方法に積極的に検討する。



連日の除雪作業

入本 市有地の活用において「民間主導」で若者定住対策を。
市長 市外から若者

入本 支所長の人事について。
市長 行政経験を蓄積した豊富な経験の職員で、地域課題に対応しており、人事には配慮している。支所問題は大きな行革の中で将来的には民間活用も視野に入れ、市民の付託に応える。



入本 和男
(あきの会)

支所 支所長の人事

市長／民間活用も視野

世帯が安心して住める定住対策、地元企業雇用対策等の活力向上、市の活性化を



支所の民間活用は

図り、芸備線、54号線を活用する。

入本 廃食用油の回収について。

市長 今後の計画で回収する必要性を認識しており、視察内容を具体的に検討して資源化に努める。

塚本 高齢化社会が進む中、高齢者の方が集団で安心して暮らせる住宅整備は。
市長 高齢化率が33%を超え、その半数が一人暮らしの高齢者、また高齢者夫婦世帯となっている



塚本 近
(新政会)

高齢化社会

住宅整備は

市長／安心して住める環境が必要



有効活用が求められる促進住宅（高宮町）

現状において、安心して生活できる環境整備は最優先の政策課題である。雪の多い冬場や交通遮断など、不安を持たれる高齢者の皆様が安心して住める住宅が必要と考える。

塚本 平成の大合併の効果は。

市長 広域的な視野に基づき、一体的なまちづくりを推進していくために合併は避けて通れない状況で、合併せずに単独での健全な行政推進は到底困難であったと思う。今後は、安心して暮らし続けられる市を目指す。

22年度
一般会計補正予算

緊急総合経済対策(きめ細かな交付金、光をそそぐ交付金など)

7億5720万円追加

地域経済の活性化に向けて

可決

第1回臨時会

1月31日、23年第1回臨時会を開催。
22年度一般会計補正予算など7議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

(審議内容)

- 安芸高田市地域活性化・緊急総合経済対策基金条例
- 安芸高田市過疎地域自立促進基金条例
- 工事請負契約の変更について(安芸高田市給食センター(仮称)建築本体工事)
- 同 機械設備工事
- 同 厨房設備工事
- 工事請負契約の変更について(安芸高田市立吉田小学校耐震改修工事)
- 平成22年度安芸高田市一般会計補正予算(第5号)

工事請負契約の変更(最終精査による)

- 安芸高田市給食センター(仮称)
 - ・建築本体工事「20,564,250円」増額し「428,058,750円」に。
 - ・機械設備工事「15,940,050円」増額し「277,516,050円」に。
 - ・厨房設備工事「12,020,400円」増額し「227,228,400円」に。
- 安芸高田市立吉田小学校耐震改修工事
「2,520,000円」増額し「532,980,000円」に。



給食センター

質疑

今村 過疎地域自立促進基金条例に基づく主たる使い方の事例は。

清水総務企画部長

農業関係ソフト、生活交通体系確保、生活環境整備、妊産婦一般健康診査、地域振興会活動支援など。

亀岡 工事請負契約の変更事項は、当初からそうあるべきではなかったのか。

清水総務企画部長

今後十分な調査・研究・専門の指導を受けながら実施設計に取り組む。



吉田小学校耐震工事

議員発議

市議会会議・規則

◎執行部の反問権を導入(3月定例会から実施)

議長は、答弁者から一般質問に対する反問の申し出があったときは、これを許可することができるものと規定しました。

※反問権が行使できるのは、市長・副市長・教育長など特別職に限ります。

◎全員協議会を任意会議から正規協議の場に(4月1日から実施)

今までは任意であったために交通事故などの災害補償はなく、4月1日以降の会議にあたっては災害補償対象となります。

今こそ力をあわせて!

被災地小学校まるごと受け入れ準備

可決

第2回臨時会

4月7日、23年第2回臨時会を開催。

専決処分された承認案件4件と23年度一般会計補正予算1議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

(審議内容)

- 専決処分した事件の承認について(平成22年度一般会計補正予算(第8号))
- 同(安芸高田市国民健康保険条例の一部を改正する条例)
- 同(安芸高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- (過疎地域自立促進特別措置法に基づく安芸高田市固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)
- 平成23年度安芸高田市一般会計補正予算(第1号)

3月11日発生の東日本大震災により被災した小学校を、要望があれば教職員を含め、学校単位で受け入れます。

- 対象：被害を受けた小学校1校程度(100人規模)
- 受入期間：おおむね1年間
- 受入施設：居住施設 安芸高田少年自然の家「輝ら里」
教育施設 元県立高宮高等学校(専用バスで送迎)
- 受入人数：90~100人程度
- 受入校：未定
- 予算：1億2400万円

市民あげて受け入れ態勢を!



少年自然の家「輝ら里」



元県立高宮高等学校

議会広報特別委員会

2月1日、2日の
両日、議会広報特別
委員会の先進地視察
研修を実施しまし
た。

委員長 穴戸邦夫
副委員長 石飛慶久
委員 前重昌敬
和田一雄

水戸眞悟
山本 優



北栄町での研修

【研修報告】

誰もが見やすい、わかりやすい広報誌

- 【研修内容】 (1) 議会だより (2) 議会広報委員会
・構成、編集の取り組み ・活動状況、委員研修など

【全国町村議会広報誌最優秀賞受賞】

鳥取北栄町議会・島根出雲市議会 いずも に学ぶ

2月1日~2日

	鳥取北栄町議会	島根出雲市議会	安芸高田市議会
編集方針	・町民目線で、正しく見やすく読みやすく。 ・中学生にも親しまれるもの。	・市民に伝えたいことを中心に。(細部に於いてはかなり工夫をされていた。)	・誰もが見やすい、わかりやすい広報誌を目指して。
齎横	6名 (議員定数15名)	13名 (議員定数34名)	6名 (議員定数20名)
写真技法	・角を落とす角丸の使用。 ・重ね写真。 ・表紙の写真の全面使用。 ・プラスシャドー立体感の演出。 ・文字が上面の埋込写真の利用。	・撮影者の議員は、日本写真作家協会に所属	・標準型(前号では角を落とす、角丸の使用。)
レイアウト	・遊び心を取入れた吹出し利用。 ・可決・否決をはんこ版の利用。	・標準型 (4年前本市へ来訪で本市議会を参考)	・標準型 (既存の広報誌を参考に作成)
特集内容	・議員の出席簿。調査研究。 ・かなり柔軟なコーナーもあり。	・採決の結果の一覧表の掲載	・議会改革報告 ・地域のががやき

※鳥取県北栄町は、「名探偵コナン」の作者 あおやまこうしゅう 青山剛昌 さんの出身地です。

◎北栄町、出雲市、議会だより発行にあたっての共通点

- ・編集方針が、市民に読んで頂くことを重視されている。
- ・写真の技法にかなり力を入れている。

■用語など

- ・上からの伝達という感じを町民に与えないため「です、ます 調」の、いわゆる敬語調を基調とする。
- ・ただし、一般質問、質疑、討論は、その性格上「である調」の常体調とする。

□研修で得たもの

- ・議会だよりを、まず市民に読んでもらう事が大切。そして、長年の広報の基礎を継承しつつ、特集内容や視感で市民の関心を引くなどの創意工夫の必要な時代である事を意識して広報作成に励みたいと思います。

毎 芸北きれいセンター

月 日曜日 ごみの持ち込みを強く要望

23年度は偶数月(4、6、8、10、12、2月)の第一日曜日のみ

芸北広域環境施設組合 議会(きれいセンター)

3月28日、芸北広域環境施設組合議会定例会が北広島町で開催され、議案2件を審査し、23年度予算5億6290万円を認定しました。

〈主な歳入〉

○運営経費負担金

3億7377万円

市町負担割合

安芸高田市(64%)

2億3942万円

北広島町(36%)

1億 528万円

○ごみ処理手数料

(ごみ袋の売上代)

1億 905万円

○雑入(分類後の売上)

アルミ缶、新聞、鉄屑

1676万円

〈主な歳出〉

○ごみ処理費

4億8980万円

○総務費(職員給料、事務経費等)

3754万円

分別による雑入

アルミ缶 582万円



鉄くず等 587万円



新聞、雑誌等 507万円



■主な質疑

Q 東日本大震災のごみの受け入れは。
A 現在は考えていない。

Q 日曜の受付は隔月になっているが毎月になれないか。
A 利用者のアンケートを参考に検討する。

Q シカ等死がいの焼却処分方法の改善を。
A 1日2〜3頭の搬入があり、3階のホッパ投入口まで搬入者に作業いただくなど、作業に苦慮している状況であり、改善を検討する。

Q 備品の「説明用機材」72万円の内容は。
A 施設見学や地域説明会で、施設の様子やごみの出し方を映像などを用いて説明するための視聴覚機材。

賛成討論

日曜日のごみの受付は、利用者の声で74%の方が月1回を望まれている。実施を強く要望して賛成とする。

議員 昌之
議員 和男
議員 敏治
議員 雅朝
議員 正昭
議員 藤井
議員 入本
議員 青原
議員 秋田
議員 前川



強く望まれる毎月日曜日1回持ち込み



投入口の作業安全性の改善を

シリーズ(2) 議会改革特別委員会の今後の取り組み

『わかりやすく、開かれた議会をめざして!』

◎これまでの活動報告

回数	月日	協議内容又は結果
第1回	1月4日	協議形式は自由討議。傍聴については公開を原則。反問権の付与を賛成。
第2回	1月18日	平成23年度議会報告会実施要領（案）を全員協議会に諮る。
第3回	1月31日	議会の現状と課題を「財政面」「地域性」「議会」の視点からまとめる。
第4回	2月9日	前回の3つの視点からの資料確認。全員協議会への報告資料の確認。
第5回	3月4日	全議員の意見集約。
第6回	3月9日	市民アンケート・議会の現状と課題など全員協議会への報告資料の確認。
第7回	4月5日	市民アンケートの実施・各種団体との意見交換について内容検討。

◎現時点でのまとめとこれからの方向性

- ・ 議会改革特別委員会では、議会の現状と課題を整理し、『議員定数』『報酬』『政務調査費』『議会報告会』のあり方について引き続き調査研究します。
- ・ 今後の具体的な議会改革に反映させていくため、市民アンケートならびに各町振興協議会との意見交換会を5月上旬以降で実施の予定です。

アンケートの対象者は、無作為抽出により選出された市内在住の有権者1,000人の方にご協力をお願いする予定です。

議員に対し厳重注意書

4月18日の産業建設常任委員会において、議員の立場にありながら、執行部、委員長及び委員に対して不適切な発言をし、同委員会の円滑な進行を妨げた。

このことは、議員としてのモラルに反し、安芸高田市議会として看過できない問題であり、今回の発言・行動は、市民の本市議会に対する信頼・信用を大きく失墜させるもので、許されるものではなく、本人に対し、書面により厳しく注意した。

私たち安芸高田市議会議員は、今後ともより信頼される議会をめざしてなお一層の努力をいたします。

議会のうごき 23年1月～3月の報告

■23年1月4日から3月18日までの議会の活動状況は次のとおりです。

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
1	4	火	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	7	金	議会広報特別委員会	議会だより第28号の編集について
	17	月	議会広報特別委員会	議会だより第28号の編集・校正について
	18	火	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	20	木	全員協議会	一般質問における反問権の導入について
			議会広報特別委員会	議会だより第28号の校正について
	24	月	議会運営委員会	第1回臨時会、第1回定例会の運営について
	26	水	議会広報特別委員会	議会だより第28号の校正について
	31	月	23年第1回臨時会	議案7件、発議1件（審議・採決）
全員協議会（臨時）			予算・決算常任委員会の設置について	
議会改革特別委員会			議会改革の取り組みについて	
2	1、2	火、水	広報特別委員会視察研修	鳥取県北栄町議会、島根県出雲市議会
	3	木	文教厚生常任委員会	市長報告2件、所管事務調査3件
	8	火	議会広報特別委員会	視察応対（香川県三豊市議会視察来訪）
	9	水	総務企画常任委員会	市長報告3件、所管事務調査3件
			議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	16	水	議会運営委員会	第1回定例会の運営について
	21	月	全員協議会	議員定数、議員報酬、政務調査費について
	22	火	葬斎場建設調査特別委員会	環境影響調査の結果、23年度事業について
	23	水	第1回定例会（開会）	施政方針、予算・決算常任委員会設置
	24	木	総務企画常任委員会	付託議案審査7件、所管事務調査3件
	25	金	文教厚生常任委員会	付託議案審査5件、市長報告1件
3	1	火	産業建設常任委員会	付託議案審査3件、請願等審査2件
	2	水	第1回定例会（一般質問）	質問者2人
			葬斎場建設調査特別委員会	23年度事業計画について
	3	木	第1回定例会（一般質問）	質問者7人
	4	金	第1回定例会（一般質問）	質問者6人
			議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	7	月	予算常任委員会	総務企画部、会計課、監査事務局、消防本部
	8	火	予算常任委員会	市民部、福祉保健部
			議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	9	水	予算常任委員会	産業建設部、農業委員会
			議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	14	月	予算常任委員会	建設部、公営企業部
	15	火	全員協議会（臨時）	市民アンケートの実施について
予算常任委員会			教育委員会、議会事務局	
16	水	議会運営委員会	第1回定例会の追加議案について	
18	金	第1回定例会（閉会）	議案30件、請願1件（審議・採決）	

■23年第2回定例会は6月の開催を予定しています。

※詳細は、市のホームページや通知公報でお知らせいたします。

地域のかがやき

吉田 小山ふれあい広場・常設ステージ落成式
～自助、共助、公助による住民総意の結集で～



可愛地区振興会

八千代 桜まつり子ども神楽大会



土師ダム湖畔祭り実行委員会

美土里 ひょっとこ踊りお披露目



神楽門前湯治村 (スタッフ)

高宮 高宮高等学校が閉校



3月6日 広島県立高宮高等学校閉校式

甲田 12月は「しめ縄」
今回は一斗缶で「ちりとり」



ものづくり同好会の皆さん

向原 春を告げる谷あいの花



向原町坂出口虫居谷

編集後記

今だかつて経験したことのないマグニチュード(M)9.0という世界最大級の巨大地震と津波により、広範囲にわたる東日本大震災の被害は今もって深刻さを増し、大自然の猛威に対する私たち人間の無力さを感じます。加えて福島原発による放射能汚染による被害はなお拡大しており、国や地方自治体は、被害に遭われた方々にあらゆる対策と最大限の支援が必要です。一日も早い復興をお祈りします。

〈発行責任者〉

議長 藤井 昌之

〈議会広報特別委員会〉

委員長 穴戸 邦夫

副委員長 石飛 慶久

委員 前重 昌敬

和田 一雄

水戸 眞悟

山本 優